協定海外留学レポート

協定海外留学プログラム：１セメスタープログラム
留学先大学：ウィーン応用芸術大学（オーストリア）
芸術学部 アート・デザイン表現学科 アートプロデュース表現領域 ３年次
Ｈ・Ｙさん

私の専攻領域から留学できる大学は限られているため、大学入学時から留学先を国際センターに相談しました。最初に希望していた英語圏には協定大学が２校しかなく、特に「勉強したい！」と思う学科がなかったため、それ以外への留学を考え始めました。その中で、以前から興味があったステージデザインを学べる学科のあるウィーンに留学したいと考え始めました。ただ、初めてのドイツ語が心配で、「ウィーンに行く」と言い切る勇気が出ませんでした。しかし、「言葉のことは気にしないで、行きたい場所に行くべき」という先輩のアドバイスを受け、ウィーンに決めました。

留学を終えた今、あこがれの国を留学先として選んで良かったと自信を持って言えます。にわかに勉強を始めたドイツ語ですが、自己紹介と簡単な単語が理解できる程度のレベルで出発しました。結果的に、大学でも街でも英語で不自由はなかったのですが、授業はドイツ語なので、ドイツ語が理解できればより積極的に授業やプレゼンテーションに参加できたと思います。ウィーンへの留学を考える方には、ドイツ語を勉強することをお勧めします。

留学準備も大変でした。一つ目はビザの問題。ヨーロッパの多くの国は「シェンゲン協定」によって日本人のビザ無しで３ヶ月まで滞在できるのですが、一方、日本とオーストリア間は二国間協定によって６ヶ月間の滞在が許可されており、私の滞在期間は６ヶ月だったため、ビザを発行してもらえませんでした。この２つの協定への理解が曖昧だったため、最初に予約したドイツ経由の飛行機はキャンセルせざるを得ず、別の航空会社に変更することになりました。それでも、入国はスムーズにできました。現地では、ウィーン在留の女子美の卒業生の方に空港で迎えていただき、移動やホテルのチェックインなども助けていただいたおかげで、初日から安心でした。ただ、到着が早すぎたため、大学が始まるまでの真冬の２週間、話し相手がいなくて寂しかったです。

二つ目は家探し。海外生活が初めてだった私は、学生寮に滞在しました。大学へ地下鉄１本でしたが、後で「その地域は少し治安が悪い」と聞き、不安になりました。実際は夜一人で歩いてもまったく問題なく、それほど心配する必要はなかったな…と思います。他の面でも、着いてから心配しすぎだったことに気づきました。留学先での手続きなどを調べておくことは大切ですが、現地で聞くこともできます。これから留学する方は、不安になりすぎず留学準備も楽しめるといいと思います。

ウィーン応用芸術大学では、ほぼ 365 日 24 時間、好きなときにアトリエに行き制作ができます。毎日通学する必要はなく、みんな学外のプロジェクトなどと両立しながら自由に制作していました。ステージデザインコースは 40 名ほどの学科でしたが、みんな家族のように仲が良く、制作しない日でもアトリエに行ったり、ランチを公園で食べたりしました。夜は多くの劇場に足を運びました。特に、約 500 円の立ち見席で連日劇場に通えたことは、天国のような環境でした。休日にはオランダや

ローマへ足を伸ばし、夏休みはオーストリア国内を列車で旅行しました。画材、食器、日用品などを買いそろえ、連日美術館や劇場に通い、休日は旅行をし、食費も節約せずに生活して、留学費用は全部で100 万円ほどになり、現地での生活費は月 10～15 万円ほどでした。

留学を通して、知らない土地に行って生活するという経験はそれだけで価値があるのだと実感しました。留学を後押しし、支えてくださった方々に心から感謝したいです。このような機会を頂きありがとうございました。少しでも留学したいという気持ちがある方、絶対に絶対にチャレンジしてください!!